

入札・契約制度

目次

- 1 令和5年度入札・契約制度の概要
- 2 最低制限価格制度及び低入札価格調査制度
- 3 総合評価落札方式
- 4 統計資料

令和5年度 建設工事の入札・契約制度の概要

1 入札方式

入札方式	対象となる建設工事
政府調達協定一般競争入札	設計金額 2 2 億 8 千万円以上
制限付一般競争入札	設計金額 2 5 0 万円超 2 2 億 8 千万円未満
指名競争入札	早急に入札を執行する必要がある場合、専門性が特に高い場合
随意契約	設計金額 2 5 0 万円以下
1 者随契	地方自治法施行令第 1 6 7 条の 2 第 1 項第 2 号～ 9 号に該当する案件

2 執行方法

- ・電子入札により執行している。（1 者随契及び病院局執行分を除く。）

3 予定価格の公表

- ・原則として事後公表。ただし、指名競争入札で執行する工事については、予定価格事前公表で執行。

4 等級別発注基準

設計金額	1,000万円	1,500万円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	5,000万円
土木	B					A
建築	B					A
電気	B	A				
管	B		A			
舗装	B			A		
造園	B		A			

5 J V 発注基準額

- ・土木工事、電気工事、管工事、舗装工事、解体工事及び造園工事 : 設計金額 2 億円以上
- ・建築工事 : 設計金額 5 億円以上

6 建設業者の社会保険等未加入対策

国や県の取組みを踏まえ、令和 2 年 4 月 1 日以降に市が契約する建設工事における全ての下請契約において、社会保険等未加入建設業者との下請契約を禁止することとした。

最低制限価格制度及び低入札価格調査制度

1 最低制限価格制度

(1) 制度概要

公共工事等の請負の契約の入札において、契約内容に適合した履行を確保するため、あらかじめ最低制限価格を設定し、予定価格の範囲内で最低の価格をもって入札した者であっても、最低制限価格を下回る場合には、これを落札者とせず最低制限価格以上で最低の価格をもって入札した者を落札者とする制度

(2) 対象となる入札方式

制限付一般競争入札（総合評価落札方式以外）・指名競争入札

(3) 最低制限価格の算定方法

次の各項目に下欄の割合を乗じた額の合計

項目	直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費等
割合	97%	90%	90%	68%

ただし、予定価格に10分の9.2を乗じて得た額を超える場合は10分の9.2を乗じて得た額とし、予定価格に10分の7.5を乗じて得た額に満たない場合は10分の7.5を乗じて得た額とする。

2 低入札価格調査制度

(1) 制度概要

低入札価格調査制度とは、あらかじめ基準となる価格（調査基準価格）を設定し、落札者となるべき者のした入札が当該調査基準価格を下回った場合に、契約内容に適合した履行が確保されることを調査したうえで落札者を決定する制度。対象となる工事については、価格失格基準を設定し、入札金額が失格基準価格に満たないときは、失格とする。

(2) 対象となる入札方式

政府調達協定一般競争入札・総合評価落札方式の対象となるもの

(3) 調査基準価格の算定方法

次の各項目に下欄の割合を乗じた額の合計

項目	直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費等
割合	97%	90%	90%	68%

ただし、予定価格に10分の9.2を乗じて得た額を超える場合は10分の9.2を乗じて得た額とし、予定価格に10分の7.5を乗じて得た額に満たない場合は10分の7.5を乗じて得た額とする。

(4) 失格基準

当該入札を行った者の積算内訳書の内訳が、次の各項目のいずれか1項目でも下回るか、又は入札価格が次の各項目の合計額を下回る場合、失格とする。

項目	直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費等
割合	75%	70%	70%	30%

総 合 評 価 落 札 方 式

1 概 要

価格その他の条件が最も有利なものをもって応札した者を落札者として決定する方式
(原則、設計金額3,500万円以上の工事に適用)

2 型 式

特別簡易型	技術的な工夫の余地が小さい工事
簡易型	比較的技術的な工夫の余地が小さい工事
標準型	技術的な工夫の余地が大きい工事
高度技術提案型	技術的な工夫の余地が特に大きい工事

3 落札者の決定方法

(1) 評価値が最も高い者を落札者として決定 (除算方式)

$$\begin{array}{c} \boxed{\text{評 価 値}} \\ \text{(小数点7位以下切捨て)} \end{array} = \frac{\begin{array}{c} \boxed{\text{技 術 評 価 点}} \\ \text{(標準点(100点) + 加算点(技術提案等から算出))} \end{array}}{\begin{array}{c} \boxed{\text{入 札 価 格}} \\ \text{(消費税及び地方消費税を除く)} \end{array}} \times \boxed{1,000,000}$$

(2) 加算点の設定及び配点 (工事内容により () の範囲内で設定)

型式	加算点の満点	配点方法
特別簡易型	原則10点 (10～20点)	「1位満点方式」 評価点が最大の者に加算点の満点を付与し、その他の者には 評価点の合計に応じて按分した加算点を付与
簡易型	原則20点 (10～30点)	
標準型	原則30点 (20～40点)	
高度技術提案型	30～50点	評価点＝加算点

(3) 評価項目

- ・ 施工計画 (工程管理・品質管理・課題・配慮事項・安全管理)
- ・ 施工能力 (施工実績・工事成績・事故及び不誠実な行為・若手技術者の配置・技術者の経験・
技術者の成績・技術者の資格・安全活動・低価格入札・契約後VE方式の実績・
ICT活用工事等の取組状況)
- ・ 社会性・信頼性 (一次下請の市内業者活用・品質確保・労働災害防止・災害等協力名簿の登載・
災害活動の実績・ボランティア活動の実績)
- ・ 技 術 力 (コスト縮減・目的物の性能や機能の向上・社会的要請 (環境・交通・安全対策・省資源・
リサイクル) への対応)
- ・ 技術提案に係る施工計画

1 競争入札の実施状況（令和5年4月1日～令和5年12月31日）

（1）一般競争入札

	契約件数		平均落札率	平均申請者数	平均入札者数	低入札価格 調査件数	発生率	同値抽選 件数	発生率	最低制限価格 (調査基準価格) と同額の件数	発生率	不調件数	発生率
一般競争全体	320	割合	92.31%	10.76	6.75	24	7.50%	91	28.44%	102	31.88%	75	18.99%
土木	74	23.12%	91.85%	10.49	5.08	7	9.46%	12	16.22%	25	33.78%	24	24.49%
建築	28	8.75%	94.64%	8.18	5.50	3	10.71%	1	3.57%	0	－	12	30.00%
電気	45	14.06%	94.36%	3.98	3.16	1	2.22%	0	－	0	－	12	21.05%
管	40	12.50%	93.54%	7.48	4.90	3	7.50%	2	5.00%	0	－	11	21.57%
舗装	57	17.81%	90.58%	19.28	12.12	4	7.02%	43	75.44%	44	77.19%	4	6.56%
造園	18	5.62%	91.89%	9.78	6.83	0	－	8	44.44%	6	33.33%	0	－
その他	58	18.12%	91.19%	11.81	8.22	6	10.34%	25	43.10%	27	46.55%	12	17.14%

（2）指名競争入札

	契約件数		平均落札率	平均申請者数	平均入札者数	低入札価格 調査件数	発生率	同値抽選 件数	発生率	最低制限価格 と同額の件数	発生率	不調件数	発生率
指名競争全体	52	割合	94.18%	－	2.69	－	－	10	19.23%	15	28.85%	22	29.73%
土木	7	13.46%	93.85%	－	2.71	－	－	1	14.29%	2	28.57%	4	36.36%
建築	16	30.76%	95.01%	－	1.88	－	－	2	12.50%	3	18.75%	8	33.33%
電気	13	25.00%	93.77%	－	2.46	－	－	1	7.69%	2	15.38%	2	13.33%
管	12	23.07%	93.34%	－	4.33	－	－	6	50.00%	7	58.33%	2	14.29%
舗装	0	0.00%	0%	－	－	－	－	0	－	0	－	0	－
造園	0	0.00%	0%	－	－	－	－	0	－	0	－	0	－
その他	4	7.69%	95.32%	－	1.75	－	－	0	－	1	25.00%	6	60.00%

2 令和3年度から令和5年度（12月末現在）の比較

（1）一般競争入札

	契約件数	平均落札率	平均申請者数	平均入札者数	低入札価格 調査件数	発生率	同値抽選 件数	発生率	最低制限価格 (調査基準価格) と同額の件数	発生率	不調件数	発生率
令和5年度 (12月末現在)	320	92.31%	10.76	6.75	24	7.50%	91	28.44%	102	31.88%	75	18.99%
令和4年度	415	92.31%	11.34	7.66	27	6.51%	124	29.88%	144	34.70%	98	19.10%
令和3年度	453	91.02%	11.37	7.40	15	3.31%	156	34.44%	169	37.31%	105	18.82%

（2）指名競争入札

	契約件数	平均落札率	平均申請者数	平均入札者数	低入札価格 調査件数	発生率	同値抽選 件数	発生率	最低制限価格 と同額の件数	発生率	不調件数	発生率
令和5年度 (12月末現在)	52	94.18%	－	2.69	－	－	10	19.23%	15	28.85%	22	29.73%
令和4年度	54	93.63%	－	3.33	－	－	15	27.78%	21	38.89%	16	22.86%
令和3年度	92	93.23%	－	3.22	－	－	10	10.87%	14	15.22%	26	22.03%

3 再度入札の状況（令和5年4月1日～令和5年12月31日）

	契約件数	不調件数	入札全件（契約件数＋不調等）	再度入札の実施件数	発生率	再度入札の落札件数	発生率	落札率	再度入札の不調件数	発生率
一般競争入札	320	75	395	43	10.89%	20	46.51%	95.97%	23	53.49%
指名競争入札	52	22	74	0	－	0	－	－	0	－
随意契約	7	0	7	0	－	0	－	－	0	－
合計	379	97	476	43	9.03%	20	46.51%	95.97%	23	53.49%
土木	81	28	109	3	2.75%	1	33.33%	－	2	66.67%
建築	44	20	64	10	15.63%	4	40.00%	97.77%	6	60.00%
電気	59	14	73	12	16.44%	6	50.00%	95.23%	6	50.00%
管	52	13	65	7	10.77%	3	42.86%	93.64%	4	57.14%
舗装	59	4	63	0	－	0	－	－	0	－
造園	18	0	18	0	－	0	－	－	0	－
その他	66	18	84	11	13.10%	6	54.55%	96.03%	5	45.45%

今年度12月末までの一般競争入札の不調発生率は18.99%で、前年度同期（21.04%）と比較すると減少している。特徴としては、「建築」の不調発生率が30.00%と前年度同期（50.00%）から大幅に減少している点が挙げられる。

次に、指名競争入札の不調発生率は29.73%で、前年度同期（17.46%）と比較すると大幅に増加している。業種別では、「建築」33.33%と、前年度同期（15.79%）から約18ポイント増加していること、「土木」で36.36%と、前年度同期（0%）から36.36ポイント増加していることが挙げられる。

また、プラント系工事やエレベータ工事において、同じ案件で入札不調を繰り返す事例があった。入札辞退の理由としては、技術者不足が多く挙げられており、業界全体の高齢化等による人手不足の影響が大きいことが考えられる。